

	課題分析	授業改善策
国語	・単元や課題ごとの目標を明確に示し、学習内容に対する関心・意欲を高めること。 ・表現活動(スピーチ、課題作文等)の機会を多く設けること。 ・漢字や文法事項などの定着を図る指導をすること。	・単元の目標と学習内容とのつながりが理解できるようにし、単元終わりの評価を学習意欲につなげる。 ・話し合いや発表を通して、多様な意見に触れたり、評価したりすることで、考えを深められるようにする。 ・小テスト等を実施し、自ら定着度を確認できるようにする。
社会	・単元のまとめりごとの「課題や問い」の理解を深めること。 ・上述のことを解決するために必要な知識(キーワード)を理解し、定着すること。 ・定着した知識や技能をもとに、社会的現象について考察し、正しく表現すること。	・授業のわかりやすさをより高め、継続するために発問や資料提示の工夫を行っていく。 ・生徒同士の話し合いや学び合いは授業内容の理解や定着、深化に有効なため、発問の工夫を行うと同時に問題解決のためのグループワークを計画的に実施していく。
数学	・授業時間中における学習への取り組みは意欲的であるが、自主的・継続的な学習および家庭学習について課題がある。 ・授業が速いと感じている生徒が少なくない。 ・意見を他人と出し合うことのできる課題が足りないと感じている。	・授業内容の定着を図る課題を提示しつつ、生徒の負担にならず、自主性を損なうことのないように、授業終末で解法のための自己の気づきをワークに記入し提出させる等、工夫する。 ・復習の時間をとり、スムーズに課題を理解できるようにする。 ・自分の意見を小グループで話し合うことができる課題の提示を増やす。
理科	・授業中に話し合いの場面を多く設定できているが、生徒によっては、私語と話し合いの区別がついていない場面があった。 ・授業内容の復習を放課後に行う習慣をつけられていない生徒が一定数存在する。	・授業中に周りとは話す際のルールを明確にして、授業と関係ない私語はしないように指導する。 ・授業中に学習したことが積み重なるように、学習課題の内容を工夫していく。
音楽	・器楽では、小学校のソプラノリコーダーに引き続き、中学校ではアルトリコーダーを学習するが、リコーダーに苦手意識をもって入学してくる生徒が多い。 ・変声期で、どのように声や音程をとって良いかわからない生徒が多い。	・指使いに指導の時間を多く使いながら、生徒の知っている曲を取り入れて楽しく上手に吹けるようにする。 ・変声期は、特に男子には避けて通れないものなので、ボーイソプラノからテノールの音程に耳を慣れさせ、徐々に声を出せるようアドバイスする。
美術	・制作に集中する時間と友達と相談する時間を設定することは授業に有効であるが、相談が雑談になってしまう生徒がいる。 ・知識・技能を自分の表現や実践に生かすことが難しい生徒がいる。	・相談はより良い作品を制作するためのものであり、目的意識をもって取り組めるように指導する。 ・知識・技能を基礎から段階的に学び、体験し、自分の表現や実践につなげやすい授業の構築や、制作の支援をする。
保健体育	・自ら考えて練習する場面や仲間と話し合っ練習する機会が少ないこと。 ・できたと感じられる場面を増やすこと。	・授業内で、自ら考えて取り組む時間や仲間と見合い、学び合う時間を意識的に取り入れ、思考力・判断力・表現力等を高める。 ・学習カードを活用し、生徒の課題やつまづきを把握した適切な指導を行う。
技術・家庭	・自らの課題を把握し、粘り強く工夫し改善しようとする生徒が少ない。 ・生活体験が少ないため、基礎基本の知識の習得に時間がかかる。	・少ない授業時間の中でも、粘り強く考える時間を確保し、また、生徒に寄り添い、考える力を引き出せるよう努める。 ・日常生活内と基礎的な知識の連携がリンクする授業展開にすることで、学習の定着を目指す。

外国語（英語）	・楽しく英語に触れる環境づくりを意識したことで、生徒が積極的に授業を受けることができています。 ・英語の音や文字に関して苦手意識をもつ生徒への個別指導を授業中のどこで行うかが今後の課題である。	・十分なインプットは引き続き行いつつ、教員の発話を減らし、生徒のアウトプットの時間を増やすよう授業構成を工夫する。 ・英語を何度も繰り返し、聞いたり、話したりすることで、音と文字を一致させる。家庭学習を設定し、授業の復習を個人で行うことで学習習慣の定着を図る。
----------------	---	---